

■西竹一 陸軍軍人，馬術選手。オリンピック初出場で初優勝の快挙後，後輩指導するも，硫黄島で愛馬と戦死。

にしたけいち

教科書疑獄・1902 = 東京麻布で，鹿児島出身で外相までつとめた男爵西徳二郎の三男に生まれる。母は正妻でなく，誕生直後に離縁され，長男・次男も夭折していたため，実質的に一人っ子。

日露戦争終・1905 = 3歳：

学習院初等科に入学，

近所の番町小の生徒と喧嘩繰り返す暴れん坊であったが，

大逆事件判決1911 = 9歳：

明治天皇没・1912 = 10歳：父が死去，家督を相続して，男爵となる。

21ヶ条要求・1915 = 13歳：父の遺志で，府立第一中学校に入学，

ロシア革命・1917 = 15歳：広島陸軍幼年学校に転じ，

大暴落・・・・1920 = 18歳：東京中央幼年学校本科に進む。

原敬首相暗殺1921 = 19歳：制度改变で，陸軍士官学校予科に進み，
在学中，_実習で騎兵第一連隊配属されたことから，馬術競技に親しみ，

護憲三派圧勝1924 = 22歳：_本科36期卒業後，騎兵第一連隊に進んで，馬術競技に専念，

_先輩の遊佐幸平教官の指導を受けて，天分を開花させ，

陸軍騎兵学校を卒業。

世界恐慌・・・・1929 = 27歳：

海軍軍縮条約1930 = 28歳：*イタリアでウラヌス号と出会い，高額のため自費で購入し，愛馬となる。以後，ヨーロッパ各地を転戦，

満州事変・・・・1931 = 29歳：

五一五事件・1932 = 30歳：*第10回ロサンゼルス・オリンピック大会に馬術大賞典障害飛越競技の選手として初出場，愛馬ウラヌス号にまたがった西は，"パロン・ニシ"の大歓声に包まれて優勝。オリンピック初出場で初優勝の快挙で，インタビューで，ウラヌス号を我々と表現し，感動を誘い，欧米の社交界で人気を集める。

国際連盟脱退1933 = 31歳：_騎兵学校教官となり後輩の指導にあたり，

二二六事件・1936 = 34歳：*続くベルリン大会にも出場，競技中落馬して棄権するも(日独防共協定締結で主催国ドイツ選手に勝利を譲ったと伝えられる)，大障害団体で日本の6位入賞に貢献。

日中戦争始・1937 = 35歳：_本業の軍務に戻り，戦車第26連隊長として，北満州防衛に当り，

健保+総動員 1938 = 36歳：

日米開戦・・・・1941 = 39歳：

創価学会検挙1943 = 41歳：中佐。

年金+総武装 1944 = 42歳：_戦車戦に不向きな硫黄島に赴任することになり，ウラヌス号の鬣を離さずアメリカ軍と戦うが，

敗戦・・・・1945 = 43歳：_その死を惜しむアメリカ軍の降伏勧告も拒否して，戦死した。直後にウラヌス号も死去。